

御原小学校だより

全校児童数 293 名

教育目標「志をもち、よりよい社会の創り手として、未来を切り拓く子どもの育成」

【合言葉】「伝え合って、語り合って、笑顔いっぱい」

文責 遠藤 芳徳

ご協力感謝いたします

先日の一斉下校、並びに地域懇談会の中止には大変ご迷惑をおかけしました。保護者の皆様の迅速な対応、感謝いたします。安心メールでは、なぜか立石小学校発出のメールが御原小の発出とされて誤報が回ってしまい、混乱を招いてしまったようで、大変申し訳ありませんでした。

地域委員会の皆様にも、当日に至るまでの会議や、資料の準備等お世話をおかけしたのにもかかわらず、実現できず申し訳なく思っています。保護者の皆様におかれましては、この労力をねぎらうためにも資料のご一読、どうぞよろしくお願いします。



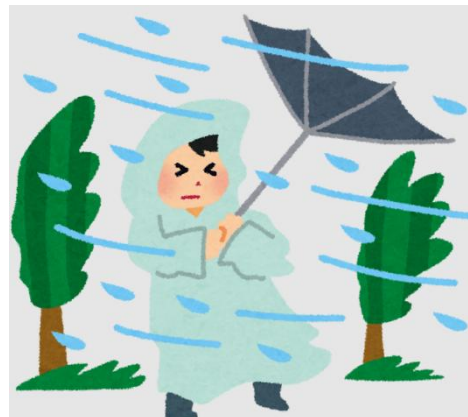
梅雨後半の時期に思うこと

梅雨末期のシーズンに入ってきました。毎年この時期、学校職員は天気予報を見つめながら、毎日ドキドキしています。それは9年前の豪雨をそれぞれ当時の勤務校で体験したからです。皆さんも小郡市内の某スーパーが水没したことや、朝倉市・東峰村、近隣市町村にて大規模な崩落や河川の氾濫があったことを記憶しているのではないのでしょうか。これらはSNSをはじめ、各種のメディアで全国も伝わっていました。

あの日の雨は大雨だったけれども、そこまでひどい状況を生み出すとは誰しもが思いもよらなかったのです。

今、私たち大人が、あの頃とは変わっているのは「体験をした」ということです。人は「体験」を通して、あるいは「失敗」を通して、多くのことを学びます。あの時のことを繰り返さないためにも、その「体験」「失敗」からの学びを生かして、次の行動に移していくのです。

学校や教育委員会は子どもたちや職員の安全を一番に考えています。時として予報、予測が外れて空振りに終わることもあります。しかし、次はそうはいかないかもしれません。大切なのはそうした空振りや失敗を恐れず、命を守る行動につなげていくことだと思います。保護者の皆様もどうぞご理解、ご協力の程よろしくお願いいたします。



たてわり集会



6月19日（金）にたてわり集会を実施しました。たてわり集会では、1年生から6年生までを20名弱の人数でグルーピングし、高学年が主導しながら45分間、自己紹介やゲーム、クイズ等で仲良く過ごしました。

感心したのは高学年の子どもたちが、事前に会場を下見し、それぞれの教室でできることを、その部屋の特徴に併せて考えて企画・実施していたことです。

教室では大きな動きができないから、宝探しや新聞紙ゲーム、大きなモニターがある教室だから、拡大クイズ、音楽室は広い空間が取れるから、風船バレーボールといったように、それぞれの教室でできる最大限の楽しみ方を考えてくれているようでした。

3年生 地域の方との交流

6月19日（金）に3年生が総合的な学習の時間で、地域在住のおじいさん、おばあさん方と交流をしました。1組、2組それぞれの学級でお招きする計画を立てて、飾り付けをし、交流する中で質問したいことを準備してお迎えしました。お客様は、子どもたちに囲まれて少々驚かれていましたが、時間と共にお互いに打ち解けて、和やかな交流会となりました。

いつも地域で子どもたちを見守って、声をかけてくださってありがとうございます。



5年生 米作り体験学習「田植え」

6月29日（月）に青空澄み渡る中、田植えを実施しました。

本来なら24日（水）で実施の予定だったのですが、その日は雨が強く、日中気温も最高気温が20℃だったため、延期となりました。

田植え実施の29日は反対に汗ばむ陽気の中、熱中症を気にしながらの田植えとなりました。

はじめての田植え経験の子が多く、最初は泥の感触になれず、あちらこちらから悲鳴が上がっていましたが、次第に慣れてきて、泥で顔を汚したり、倒れて全身泥まみれになったりして、とても楽しそうにしていました。

田植えに関わっては毎年、古飯の藤井誠さんが中心となって、地域の皆さんとJA職員の皆さんのご協力のおかげによって、御原小学校の米作り体験学習が実施できております。

この場を借りて御礼申し上げます。

